

スローガン
 中小労働者の総結集で
 92権利春闘に勝利しよう
 国鉄闘争・全争議団闘争に勝利し
 働く者の権利を確立しよう
 全ての未組織労働者を組織し
 共に闘おう
 地域共闘の力で
 全労協運動の強化を目指そう
 全国一般・全国協に
 新しい仲間を組織しよう

全国一般 全国協

結成大会特集号
 1991年12月16日NO.1

全国一般労働組合全国協議会
 〒105 東京都港区新橋3-21-7
 TEL.03(3434)1236
 FAX.03(3433)0334



景風大会あふれる熱気
 12月1日 四谷・主婦会館

全国一般労働組合全国協議会発足す！

人間らしい労働と生活を実現し
 中小労働運動に、新しい風を！

一九九一年一月二日、全国一般労働組合全国協議会が発足した。八八年三沢大会で全国一般が分岐し中小労働運動の混迷が深まって以来三年余、全国一般の再建・統一をめざす全国協が、今、全国の仲間の希望の中結成された。全国協は全国一般の組織強化・拡大の取り組みとともに、中小労働運動を担ってきた諸組合との連携に向けて活動を展開する。

さらなる結集へ！
 組織拡大へ！

設楽初代委員長は、決意表明で次回大会までに組織の倍増、中小企業に働く労働者の総結集を高らかにうたいあげた。多数の来賓・傍聴者を含め友好的雰囲気の中で、委員長は決意は万雷の拍手で迎えられた。

全国各地から、本場に闘う組織がやつとできた、と熱い期待を込めた発言が続く。連合ではできない、全労連も追求しようという新しい新しい運動を創っていく、と想いは未来にはせる。

PKO法案粉砕！自衛隊の海外派兵阻止に全力投入！
 PKO法案の衆院通過を目

前にして、廃案に向けて大行動をおこそう、と来賓の全労協山崎議長から連帯のあいさつ。山崎議長は、労働者が労働者を処分したり、下請けを切り捨てたりする連合路線と対決して闘おう、九二春闘を

権利春闘としてもりあげようと訴え、中小労働者の結集母体としての全国一般全国協への期待を表明した。ひとごとではない。民間だっていつ戦火にさらされるかわからないと掃海艇派遣の経路から神奈川の現場からPKO廃案への決意表明。

国鉄闘争、完全勝利へ！

国鉄闘争を代表して連絡会議金児事務局長からも連帯のあいさつ。闘いのなかで自己変革していくことの大切さを体験として切々と訴え闘争勝利への確信と決意が語られる。すべての争議に勝利を、国労頑張れと各地からも激励

し、決議を採択した。期待にこたえる斬新な組織づくりを！

組織はその中味が問題だ。広げさえすれば良いのではない。外国人・パート・派遣・女性など差別されている労働者の信頼を受け、その叫びに応えられる闘いと組織を、と各地から注文がでた。オルグ依存型組織からどう脱却するかが大きな課題として提起された。

小さくても豊かな志を！新しい組織！全国一般全国協は、戦場に、地域に支えられて、今、出発した。

結成宣言

たとえは
 いま新しい太陽はのほり
 いま新しい風は吹いて
 いま新しい朝は薫る
 そんなふうに
 闘魂は生き生きと燃え
 知恵は深くはつらつとほぐみ
 ここに澎湃と新しい力は湧き出でて
 いま 全国一般全国協議会が生まれた
 それはすべての中小企業労働者の
 生きる権利のよるべであり
 闘いの砦である
 勇躍して結集した私たちの
 握手をする手から手へ
 スクラム組んだ腕から腕へ
 有、宣言する。
 一九九一年一月二日

そうしてがいの心から心へと
 火にあらがう水のように
 水をたぎらす炎のように
 静かに強く、そして熱く誇らかに
 回流し伝導するそれは
 連帯と共生のしなやかな理念である
 前進と変革の凜平たる決意である
 私たちをともに結ぶ
 信頼の固い絆である
 全国一般労働組合
 全国協議会に結集して
 「人間らしい労働、人間らしい生活」を
 闘いとう

全国一般労働組合全国協議会 九二年度運動方針

1. 初年度の活動重点目標を、
① 中小春闘・地域春闘、
権利春闘の実現。
② 未組織の組織化、地域合
同労組づくりと争議支援。
③ 業種別運動への着手。
④ 組織の拡大
5点におく。

2. 九二中小春闘・地域春闘 権利春闘の実現

全労協・春闘方針にもとづき、中小春闘対策委員会が設置される。
われわれはその中心を担い、中小春闘・地域春闘・権利春闘の勝利をめざし全力で闘う。
二月二日、中小春闘討論集会で意志統一し、全労協中央省庁交渉の中で中小労組の要求を労働省・通産省へ要請していく闘いを皮切りに、要求

3. 未組織の組織化・業種別 運動への着手

未組織労働者の大海にとびこみ組織化することが、われわれの最大の任務の一つである。
パート・臨時・派遣・外国人労働者など無権利状況に放置されている仲間の組織化のために全力で取り組む。
また、書店・病院・自動車教習所など、われわれが手掛けることが出来るところから

提出を早め、三月末、四月下旬の全国統一闘争、四月下旬の全国統一行動などを企画する。
全国の闘う中小の仲間の春闘要求・第一次回答・妥結状況を集約し、速報を発行する。とりわけ、早急に労働条件賃金調査を実施する。

業種別運動に着手し、全国ネットワーク作りをめざしていく。六月に争議・組織化交流会を計画する。

4. 組織の一体感の確立を
機関紙の定期発行、全国一般全国協議会の随時発行により、全国組合員に全国一般全国協議会を認識してもらい、一体体制を作り上げるよう努力する。年間六回の中央執行委員会

5. 組織の拡大を
全国一般全国協は、いまは小さな組織として出発する。これはわれわれの今日の到達点であるが、同時に出発点にすぎない。
今日の中小労働運動の仲間の中に、われわれの闘いの輪を大胆に広げていく努力をすれば、組織拡大はおおいに可能である。
第二回大会までわずか八カ月の間に、中小労働組合の多くの仲間にも働きかけ組織拡大をはかり倍増拡大をめざす。

人間らしい労働と生活を 実現し、 中小労働運動に新しい風を

この、ささやかな出発は希望と力を感じさせる。
しかし、それは決して平穩無事なものではなく、困難そのものであろう。
私たちはそのことを覚悟しているが、悲壮な決意で望むわけでもない。
自らの力を出来る限りこの新しい組織と運動に役立てたいと思う。
どのようにか工夫と知恵のいることである。
いまだ小さく未熟な私たち

を定期開催し、早急に執行体制の確立をはかるよう努力する。
この結成に参加した各組織を構成する組合員活動家たちは、実に様々な多士済々のキャラクターと能力をもつ人々であることは、結成大会とレセプションの中でも垣間見えた。
私たちの運動の貴重な力であり財産である。
さらに新しい組合が参加することになれば、私たちはもつと豊かで強いものになるであらう。
私たちの活動と運動が楽しく面白いものであれば、仲間

は、日々の格闘の中でその工夫と知恵を学びとる以外にならぬ。
互いに刺激し合い励まし合えば、必ず組織と運動の前進は可能である。
何よりも、職場と地域のどのように作り上げるかを中心眼目にした。

全国の組合員・仲間のみなさん！
皆さんの力と知恵を貸して下さい。
新しい中小労組の仲間の皆さん！
私たちの、全国協議会に参加しよう。

全国一般・全国協の出発を祝うレセプションが開催された。
開場には多くの来賓・組合員が参加した。
全労協佐藤事務局長次長、吉岡徳次氏、市川誠氏は労働組合の統一と団結を高らかに掲げ、労働者の権利を守り拡大する闘いを訴えた。国労櫻村書記長は労働組合は働く人々の声を受けその声を生かすため、古い新しいというのではなく労働者のための労働運動として頑張らなければならない。
金風一般自立労連、東京東部労組、石油三単組、電通合同、郵政全労協、東京地評等から連帯と激励の挨拶を受けた。

全国一般労働組合全国協議会 新役員	
中央執行委員長	設楽 清嗣 (東京労組)
中央副執行委員長	倉田 健治 (神奈川地方連合)
書記長	平賀 雄次郎 (東京南部支部)
書記次長	遠藤 一郎 (宮城合同労組)
(会計兼務)	宮下 義則 (東京南部地区協)
執行委員	大野 隆 (東京労組)
	波辺 聡 (東京南部地区協)
	村石 雄二 (神奈川地方連合)
	石丸 輝 (嘉飯山合同労組)
	黒田 徳一郎 (長崎連帯支部)
会計監査	秋元 史人 (神奈川地方連合)
	宇和川 道男 (東京労組)

日時	1992年1月12日 (日)
場所	午後1時から5時まで
議題	全国一般全国協の具体化 92春闘の準備と具体化 年度内活動の配置 役員その他

92春闘討論集会の準備進む
協進員2開 労で委年 全同行2館 が共実9会 備との政 準組日が の労6る 会小1れ 論中月央 討民2認 間1確 春加。は する。細 92春闘 にん会で 会月催